

令和6年1月末現在における安全運転管理者選任事業所の交通事故発生状況（千葉県内）

本資料は、運転代行業を含む安全運転管理者選任事業所（以下「安管事業所」といいます。）の従業員が千葉県内において業務中又は通勤中に起こした人身事故を分析したものです。

注1：物件事故（人の死傷を伴わない事故）の数値は含まれていません。

注2：業務中又は通勤中以外のプライベートな用務中の事故の数値は含まれていません。

注3：本資料には、他県の安管事業所の従業員が千葉県内で起こした事故の数値が含まれていますが、本県の安管事業所の従業員が他県で起こした事故の数値は含まれていません。

1 安全運転管理者等選任事業所の交通死亡事故の概要（千葉県内）

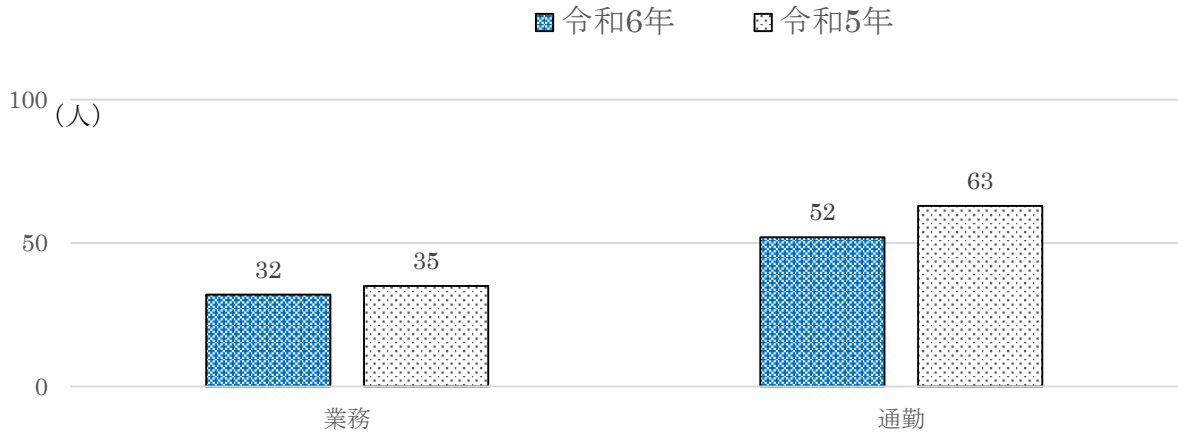
番号	発生日時	場 所	路線名	第1当事者	第2当事者	通行目的
1	1月4日（木） 21:37	富津市 小久保	国道 465号	サービス業20代（女） 軽乗	80歳代（男） 歩行者【死亡】	通勤

2 安全運転管理者等選任事業所の交通事故発生状況（千葉県内）

		1月中			
		令和6年	令和5年	増減数	増減率
発生件数		84	98	-14	-14.3
昼	日の出1時間後	10	9	1	11.1
	その他昼	42	52	-10	-19.2
	日の入1時間前	4	2	2	100.0
	昼計	56	63	-7	-11.1
夜	日の入1時間後	6	3	3	100.0
	その他夜	19	26	-7	-26.9
	日の出1時間前	3	6	-3	-50.0
	夜計	28	35	-7	-20.0
死者数		1	3	-2	-66.7
負傷者数		94	116	-22	-19.0
重傷者数		9	13	-4	-30.8
軽傷者数		85	103	-18	-17.5

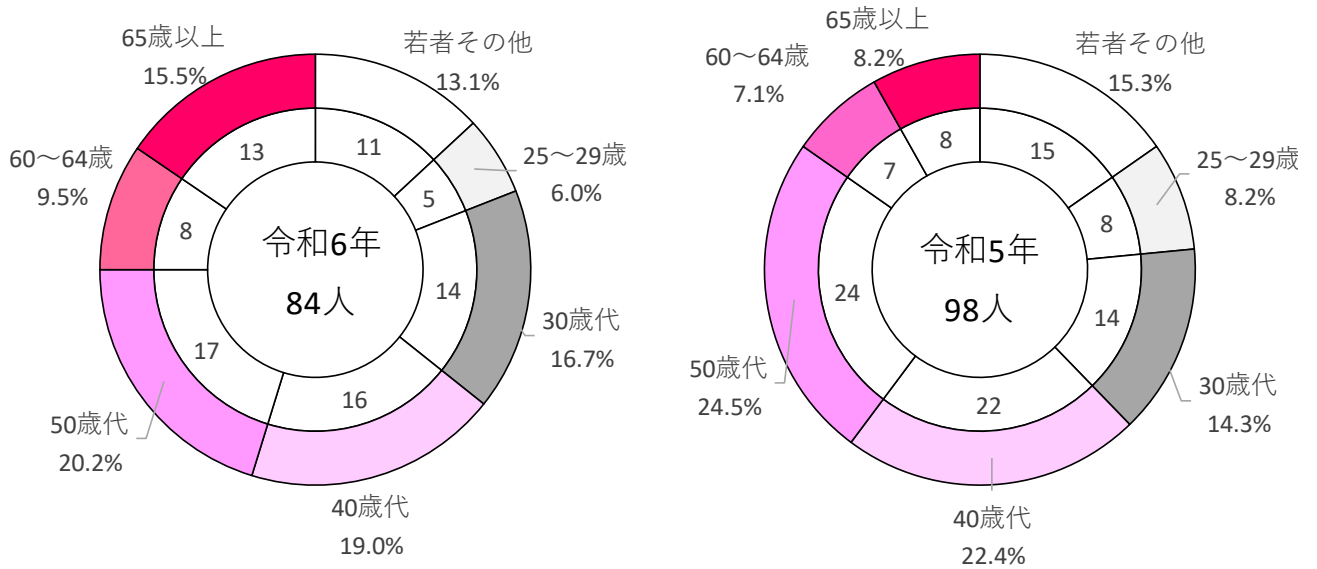
令和6年1月末現在における安管選任事業所従業員に係る交通事故は、令和5年同期に比べ発生件数、死者数、負傷者数が減少しています。

3 第1当事者の運行目的別発生状況



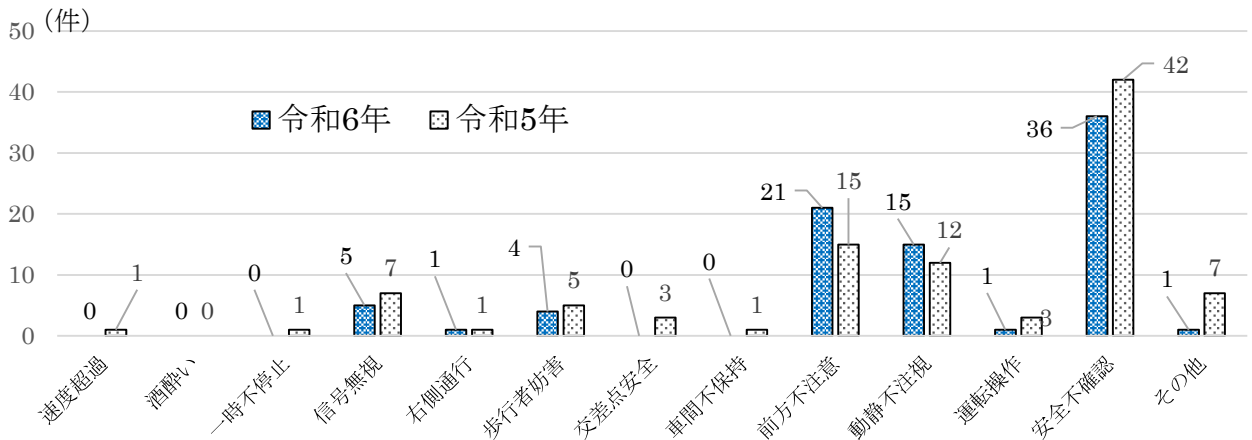
運行目的別では業務中より通勤中の事故の方が多くなっています。マイカー通勤中の交通事故であっても、民法上の「使用者責任」により、雇用主等が賠償責任を負うことがあります。通勤中の安全運転管理にも取り組んでください。

4 第1当事者の年齢層別発生状況



65歳以上（前年比+5人）が増加し、50歳代（前年比-7人）と40歳代（前年比-6人）が減少しています。

5 第1当事者の違反・原因別発生状況

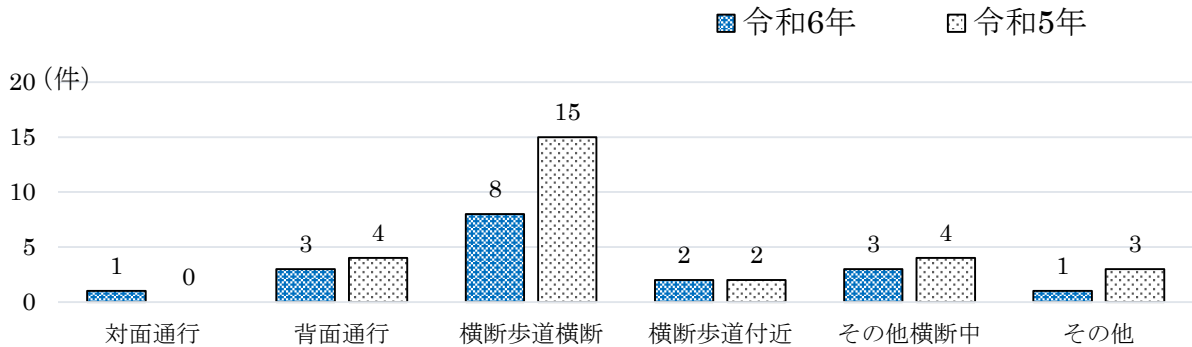


事故原因は、前方不注意、動静不注意、運転操作不適、安全不確認などの安全運転義務違反が計73件で事故原因の86.9%を占めています。

注1：酒気帯び運転は事故原因として計上されていません。

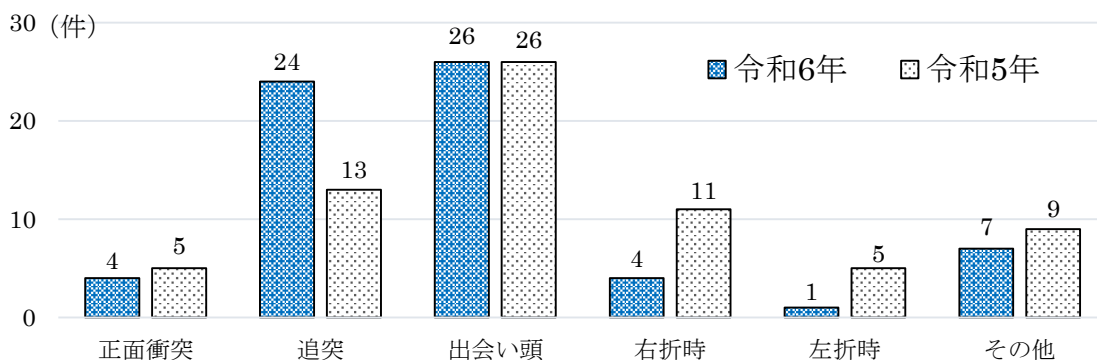
6 事故類型別発生状況

(1) 人対車両 (計18件)



横断歩道横断中の歩行者は最も保護されるべき交通パートナーですが、人対車両事故18件中、横断歩道横断中の事故が8件(前年比-7件)と最も多くなっています。右折または左折して横断歩道を通る際に歩行者の発見が遅れて接触する事故が多いので、交差点を右折又は左折する際は歩行者の有無に注意するよう指導してください。

(2) 車両相互 (計66件)



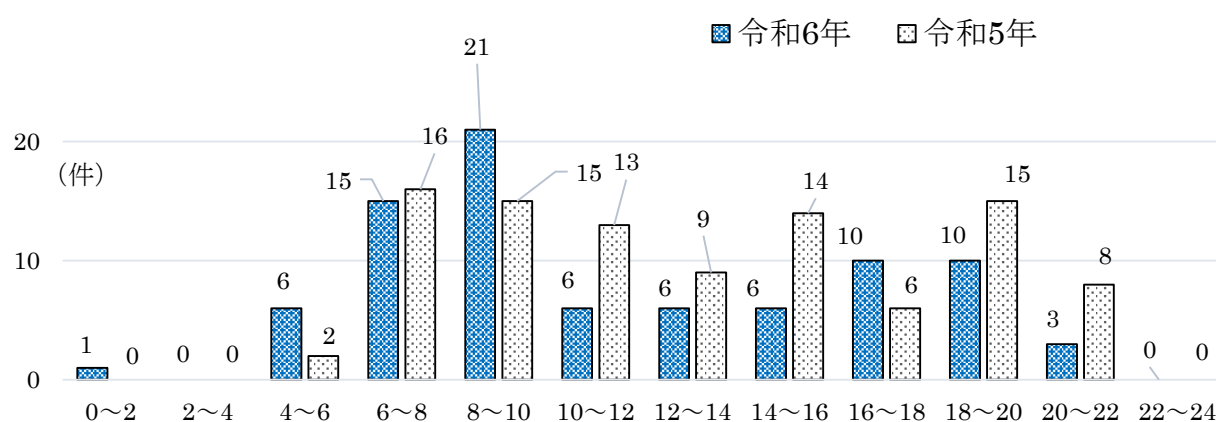
最も多い事故形態は出会い頭（26件、全事故の31.0%、前年比±0件）でした。次に多かったのは追突（24件、同28.6%、同+11件）です。これまで追突が常に最も多い類型となっていました。1月中は出会い頭が追突を上回っています。

出会い頭事故は追突事故に比べ重傷事故になりやすいので、信号機のない交差点では徐行、または一時停止と安全確認を徹底して下さい。

（3）車両単独（0件）

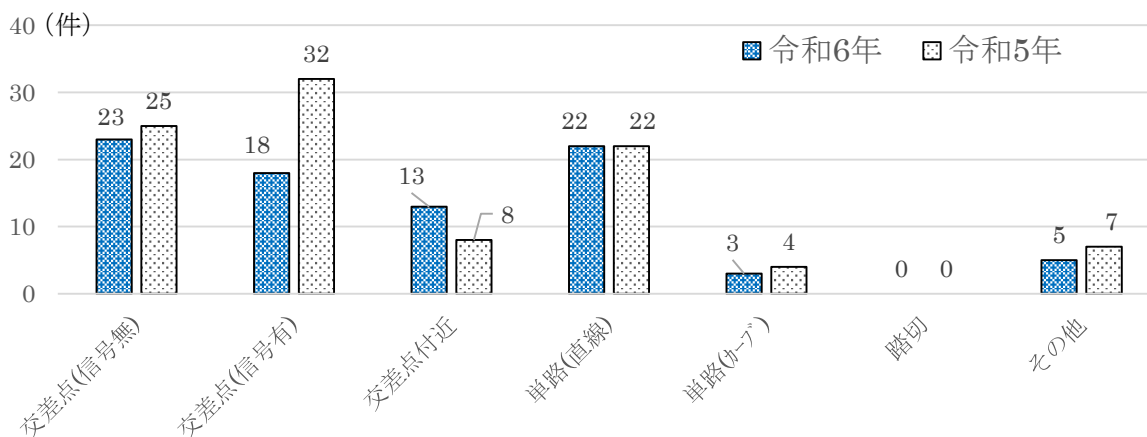
1月中単独事故の発生はありませんでした（令和5年1月中の発生もなし）。

7 時間帯別発生状況



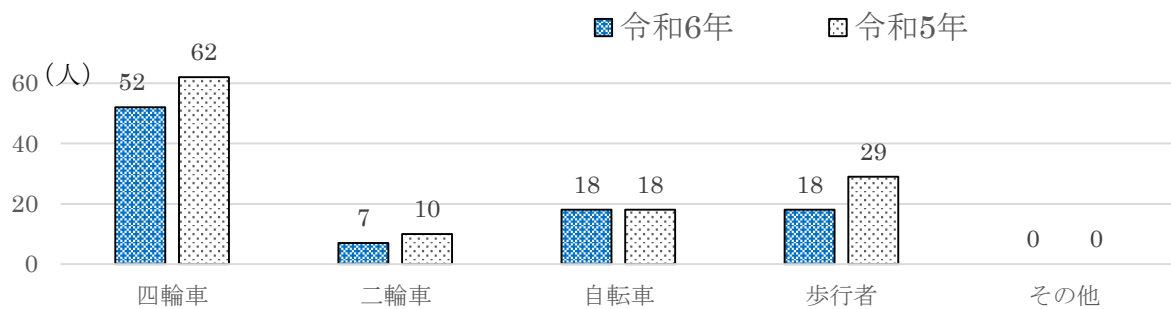
時間帯別で最も多かったのは、8時から10時までの時間帯に21件（全事故の25.0%、前年比+6件）でした。また、6時から10時までの時間帯に36件（同42.9%）、16時から20時までの時間帯に20件（同23.8%）発生しており、朝夕の通勤時間帯の事故が多くなっています。

8 道路形状別発生状況



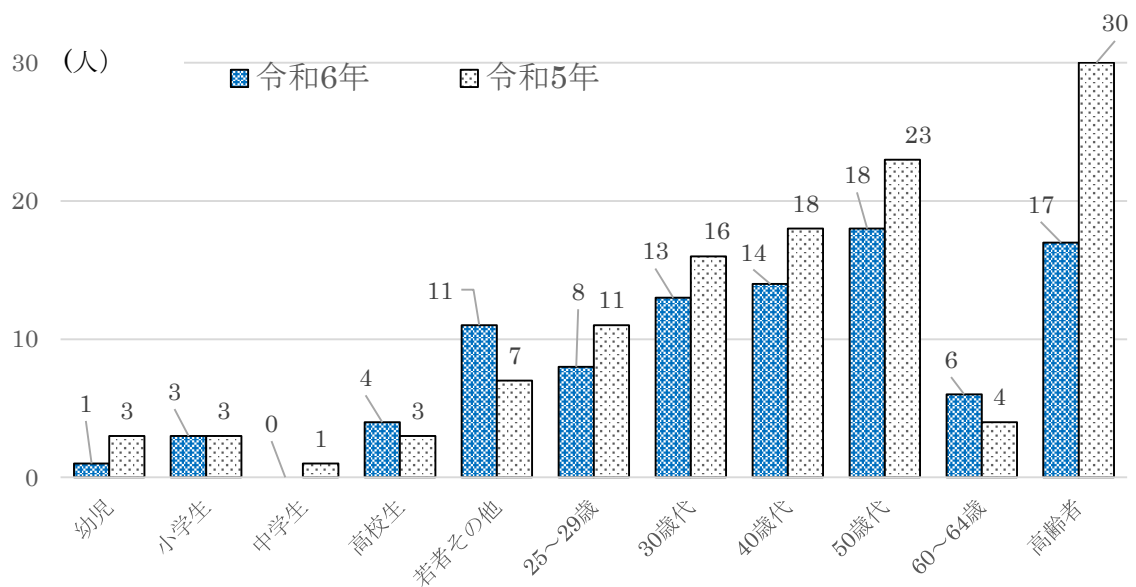
道路形状別では、交差点（信号無）23件（前年比-2件）、交差点（信号有）18件（前年比-14件）が減少しています。

9 死傷者の状態別発生状況



四輪車乗車中が最も多く 52 人 (54.7%、前年比-10 人)、次いで自転車の 18 人 (19.0%、同±0 人)、歩行者の 18 人 (19.0%、同-11 人、死者 1 人) でした。

10 死傷者の年齢層別発生状況



50歳代が最も多く 18 人 (19.0%、前年比-5 人)、次いで高齢者の 18 人 (17.9%、同-13 人) でした。